

千鳥だより

第6号



令和5年度卒業証書授与式

3月1日(金)、令和5年度卒業証書授与式が多数のご来賓並びに保護者の皆様方のご臨席を賜り、盛大かつ厳粛に挙行され、卒業生153名が慣れ親しんだ学び舎を後にしました。また今年はコロナウイルス感染症による制限が緩和され全校生徒が参加した式となりました。

校長式辞では、卒業生の皆さんに期待することとして「一生涯学び続けること」と「人との繋がりを大切にすること」について述べられる等、はなむけの言葉がありました。

送辞では、在校生代表が「夢に向かって一生懸命努力してきた日々は、様々な困難を乗り越えるための大きな自信となるはずです。」と先輩方への感謝とともにエールを送りました。

卒業生代表の答辞では、笠岡高校での3年間の高校生活を振り返りながら、「『惜しみなく、絞り出せ』これは私たち三年生の学年目標でしたが、今となっては私たちの高校生活を象徴する言葉であると感じます。高校生活での様々な出来事を通して大きく成長し、未来へ飛び立つための翼を手に入れた私たちは、『千鳥』からそれぞれの未来に向かって羽ばたいていきま」と新生活に向けての抱負と決意を述べました。



1年次生企業訪問



3月4日(月)、1年次生が総合的な探究の時間(ACCT)の一環として地元企業を訪問しました。この事業は地元で高い理念のもとグローバルに展開している企業を訪問し、社会のあり方や社会と自分のよりよい関わり方を考える契機にすることを目的としています。今回は、萩原工業(株)を全員が、選択コースとして、常石造船(株)、安田工業(株)、ローム・ワコー(株)を訪問しました。生徒は企業で働く方の姿を見たり、話を聞いたりすることができ、今後のキャリアにつながる貴重な経験となりました。

